

May Peace Prevail On Earth

# 七月大行事

2026年7月5日(日)

11:00～13:30(予定)

本年の「七月大行事」は、皆様のご自宅などからご参加いただくプログラムとなります。富士聖地では行ないません。  
ご無理のない範囲で行なってください。

※海外在住の方は、現地時間で行なっていただいても構いません。

※行事開催時間内での参加がご無理な方は、24時間以内(7月6日(月)の午前11時まで)に行なってください。  
ライブ中継の録画は日本時間7月6日(月)午前11時までご覧いただけます。

※7月4日(土)・7月5日(日)は、富士聖地は臨時休業となり、終日閉館となるほか、電話対応も出来ません。  
行事に関するお問い合わせは前々日の7月3日(金)までをお願いいたします。

※インターネットでのライブ中継も行ないます。詳細は次ページをご覧ください。

白光真宏会「2026年七月大行事」実行委員会

〒418-0102 静岡県富士宮市人穴812-1  
TEL: 0544-29-5100 FAX: 0544-29-5112

白光2026年6月10日号付録

## インターネットでのライブ中継（生放送）の視聴方法

- ① 白光真宏会公式ホームページ (<https://byakko.or.jp/>)  
をご覧ください。

※スマートフォン・タブレットの場合、右の QR コードを  
使うこともできます。



- ② ニュース&トピックスの《七月大行事2026のお知らせ》  
をクリックしてください。

- ③ 冒頭に《2026年7月5日「七月大行事」ライブ中継のお知らせ》と書か  
れたページに切り変わりますので、以下のボタンをクリックします。

「七月大行事」ライブ配信はこちら

← こちらをクリック  
してください。

- ④ 当日10時50分より接続できます。  
\* 視聴時間（10時50分）より前に接続された場合、再生ボタンを押さな  
いと映像が始まらない場合がございます。  
\* 映像を視聴するには大容量のデータを使用いたします。インターネッ  
トのご契約内容により通信制限がかかったり料金が高額になったりす  
る場合がありますのでご注意ください。

### 【録画をご覧の方へのご注意】

- \* 最初の約10分は、お知らせが流れます。  
\* 録画は日本時間7月6日（月）午前11時までご覧いただけます。

## 【プログラム】

|                        |             |    |
|------------------------|-------------|----|
| 七月大行事によせて .....        | 西園寺昌美       | 2  |
| 共に照らし合う、人類即神也 .....    | 西園寺由佳、真妃、里香 | 4  |
| は じ め に .....          |             | 6  |
| 1. 人間と真実の生き方 .....     |             | 6  |
| 2. 世界平和の祈り .....       |             | 7  |
| 3. メインプログラム／7つの行 ..... |             | 8  |
| 〔行①〕 我即神也の宣言文奉唱と印      | 8           |    |
| 〔行②〕 呼吸法による唱名          | 9           |    |
| 〔行③〕 人類即神也の宣言文奉唱       | 10          |    |
| 〔行④〕 人類即神也の唱名          | 11          |    |
| 〔行⑤〕 人類即神也の音霊          | 11          |    |
| 〔行⑥〕 人類即神也の印（発声を伴った印）  | 12          |    |
| 〔行⑦〕 呼吸法による人類即神也の印     | 12          |    |
| 4. 自分の神聖自覚の祈り .....    |             | 13 |
| 5. 共に照らし合う祈り .....     |             | 13 |
| 6. 神聖復活の印 .....        |             | 13 |

## 七月大行事によせて

西園寺 昌美

皆様、本日は七月大行事にご参加くださりまして、誠に有難うございます。

これまで長きにわたり、「世界人類が平和でありますように」と祈りつづけ、また、「神聖復活の印」を組みつづけ、そしてこの印に至るまでの過去を遡れば「我即神也の印」、「人類即神也の印」を組みつづけてこられた会員の皆様に、心より深く感謝申し上げます。

皆様お一人お一人の祈り、印、そして日々の真心のお働きは、決して消えるものではございません。真剣に捧げられた祈りは天に通じ、神界に届き、そして地上世界に光として働きつづけております。五井先生も、その皆様のお祈りの尊さを、誰よりもよくご存知でいらっしゃるものと存じます。

私たちはこれまで、世界平和の祈りを祈りつづけ、神事を行じつづけてまいりました。それらは、ただ自分一人が幸せになればよいという祈りではございません。自分の国だけが平和であればよいという祈りでもございません。たとえ今、世界の各地に争いや苦しみ、悲しみ、分断があったとしても、私たちはその奥にある人類の神聖を信じ、その神聖に光を送りつづけてまいりました。

人類は本来、神の生命であります。

人類は本来、光であります。

人類は本来、一つであります。

その真理を、皆様は祈りと印を通して、長い年月をかけて実践しつづけてくださいました。これは、誰にでも出来ることではなく、ご自分自身を高め、深め、日々の生活の中で祈りを重ね、真理を信じつづけてこられた皆様だからこそ、ここまで歩んでこられたのだと思います。

今、世界は大きな転換の時を迎えております。国境を超え、人種民族を超え、宗教宗派を超え、あらゆる違いを超えて、人類が一つの生命として目覚めてゆく時が、いよいよ近づいております。そしてその中で、日本という国が、世界平和の精神をもって、世界の国々と手を取り合い、光の方向へと歩んでゆく大切な時を迎えていると、私は深く感じております。

それも偏に、これまで皆様が富士聖地で、ご家庭で、お仲間と共に、またお一人お一人の場において、絶え間なく祈りを捧げ、印を組みつづけてくださったお蔭でございます。皆様の祈りは、消えておりません。皆様の印は、消えておりません。真剣に捧げられた祈りと印は、永遠に光として残り、世界を照らしつづけているのです。

今年の七月大行事では、「共に照らし合う、人類即神也」というテーマのもと、改めて人類即神也の真髄を深く行じてまいります。人類即神也とは、人類すべての中に神聖があるという宣言であり、祈りであり、真理であります。今、困難の中にある人々にも、争いの中にある人々にも、苦しみの中にある人々にも、その奥には必ず神聖がある。私たちはその神聖を信じ、その神聖に光を送り、その神聖が現われてくることを祈りつづけるのです。

人類即神也を深く、深く行じてゆく時、そこには今の現象や現状をも包みこむ大きな愛と光と真理が響きわたります。そしてその祈りの境地から神聖復活の印を組む時、さらに大きな光が世界へと放たれてゆくことでしょう。

会員の皆様、世界平和の道を歩んでくださっているすべての皆様に、心より感謝申し上げます。私は本当に皆様の存在を誇りに思っております。皆様のお祈りを、皆様のご尽力を、心より有り難く思っております。

いよいよ私たちの祈りが、より大きく世界へと現われてゆく時でございます。これからも、どうぞ共に祈り、共に印を組み、共に人類の神聖を顕してまいりましょう。

世界人類が平和でありますように  
人類即神也

## 共に照らし合う、人類即神也

西園寺由佳、真妃、里香

2026年も半ばを迎え、日々の祈りと印のお働きを重ねてくださっている皆様に、心より感謝申し上げます。

2024年の七月大行事において、私たちは「神聖であります」と宣言する祈りを、初めて共に捧げました。そして2025年はそれを土台として、さらに深い次元へ——天地創造の根源、無極へと復帰する祈りを重ねてまいりました。その祈りの光は確かに世界へと放たれ、今もなお生きつづけています。

そして今年2026年、私たちはその歩みをさらに深めてまいりたいと思います。深めるということは、より根源へ、より奥へと還っていくことです。

私たちの根源へ還るとはどういうことでしょうか。それは、自分の内側へ、奥の奥へと向かっていく動きです。その根源の場所は、光一元の光明世界であり、自分だけでなくすべての存在がつながっている場所です。自己と他者が未分化の次元、それが無極であり、根源なのです。

ですから、自分が根源に深く触れるほどに、不思議なことが起きてまいります。私の神聖が深まることで、そのまま他者の中に眠る神聖を呼び覚ます働きになっていく。内へ向かう動きが、そのまま外へと光を放つ動きになっていく。

「深く還るほどに、ともに輝く」——今年の七月大行事は、その真実を共に生きる場でありたいと思います。

それにより、私たちの歩みはいよいよ次の深みへと向かいます。「人類即神也」それは、どのような苦しみや恐れ、悲しみの中にあっても、すべての人の奥に神聖が失われることなく輝いていることを確信し、その神聖の光に祈りを向ける宣言であります。

戦争の中にある人々。恐怖の中にある人々。大切な存在を失った人々。故郷を離れざるを得なかった人々。飢えや貧困の中にある人々。病に苦しむ人々。孤独の中にある人々。憎しみや怒りの渦の中にある人々。その一人一人が、どれほど深い消えてゆく姿のただ中であつたとしても、その奥には、決して消えることのない神聖の光が輝いています。

私たちは現実を、裁くのではなく、哀れむのではなく、消えてゆく姿の奥に輝く神聖を見つめながら、静かに光を送る存在として向き合うことができます。

目の前の人の神聖を見ようとした瞬間、自分の中の批判、非難、想いが消えていきます。他者の神聖を見ることが、そのまま自分の神聖を見ることになっていく。照らす者が、照らされていく。これが「人類即神也」の真実の顯れ方なのだと、私たちは信じております。

私が今ここに立ち、祈りを捧げる時、私の視野には前方の景色が広がっています。しかし私の後方——私には見えない場所には、別の誰かが立ち、祈りを捧げています。そしてその人の後方もまた、別の誰かが照らしている。

祈っても世界は変わらないと感じる瞬間があるかもしれませんが、今この瞬間も、世界のどこかで、あなたの知らない誰かが、あなたの後方を照らしています。あなたが祈りを捧げているこの瞬間、あなたもすでに照らされていることに気づくのです。

私たちはそれぞれ、自分にしか見えない世界、そして自分には見えない世界を抱えています。一人一人が見えている世界は違います。一人一人が抱えている消えてゆく姿も違います。けれども、だからこそ、私たちは互いに必要な存在なのであります。

一人一人の祈りは小さく感じるかもしれませんが。しかしこの七月大行事において、時を同じくして心をついに、互いの後方を照らし合いながら祈りを捧げる時、その光は世界中へと広がり、隅々まで届いてまいります。人類が一つの神聖として、共に輝く時が来ています。

共に照らし合ひましょう。共に還りましょう。そして共に、この地球に神聖の光を輝かせてまいりましょう。

世界人類が平和でありますように  
神聖復活大成就



## は じ め に

私たちは二年前より、神聖自覚、そして無極の地からの視点を通して、自分自身の神聖を深めてまいりました。今年は、その視座から人類即神也にフォーカスしてまいります。

この二年間を経て、自らの奥に深く入った私たちが、人類即神也の行を真剣に行なうことにより、世界を、そして人類を照らしてまいります。

すべては調い、動かされているのです。宇宙の運行に、私たちの働きが含まれているのです。その大いなる流れの中に私たちは存在して、守られているのです。宇宙神様、五井先生、大光明霊団、法友神、守護霊様、守護神様に守られながら、私たちは人類即神也の真理を通して、すべての存在を照らしていきます。

## 1 人間と真実の生き方

「人間と真実の生き方」を日本語で奉唱します。声に出して唱えられない方は、心の中で唱えても結構です。

Point

人類がお互いを照らし合うことは、この教義「人間と真実の生き方」に書いてある真理をしっかりと実践し、生きることによって、初めて可能となります。

この世の中に起こる理不尽、不公平、苦しみ。それをただ哀れみ、かわいそうと思うのではなく、そのもっとも深いところに潜って、すべてと一つである心境から光を投げかけていく。その働きをするためには、まず自らが真理をしっかりと落とし込んでいかなければ出来ません。善いも悪いも、神の視点から見たら完璧である。その深いまなざしを通し、人類への愛をもって、「人間と真実の生き方」という真理を奉唱してください。

## 人間と真実の生き方

人間は本来、神の分霊であって、業生ではなく、つねに守護霊、守護神によって守られているものである。

この世のなかのすべての苦悩は、人間の過去世から現在にいたる誤てる想念が、その運命と現われて消えてゆく時に起る姿である。

いかなる苦悩といえど現われれば必ず消えるものであるから、消え去るのであるという強い信念と、今からよくなるのであるという善念を起し、どんな困難のなかにあっても、自分を救し人を救し、自分を愛し人を愛す、愛と真と救しの言行をなすつづけてゆくとともに、守護霊、守護神への感謝の心をつねに想い、世界平和の祈りを祈りつづけてゆけば、個人も人類も真の救いを体得出来るものである。

## 2 世界平和の祈り

続いて、「世界平和の祈り」を日本語で祈ります。祈る際は、五井昌久先生による統一指導テープ、CDを使用してください。時間の目安は5分～10分です。

テープやCDをお持ちでない方は、世界平和の祈りを唱えるだけでも結構です。声に出して唱えられない方は、心の中で唱えても結構です。

Point

すべてを神々様に委ねていく気持ちで、祈ってください。そしてその祈りのひびきの奥の奥にあるのは、「すべては完璧、欠けたるものなし、大成就」のエネルギーであることを感じてください。

## 世界平和の祈り

世界人類が平和でありますように  
日本が平和でありますように  
私達の天命が完うされますように  
守護霊様ありがとうございます  
守護神様ありがとうございます

## 3 共に照らし合う、人類即神也

### メインプログラム 7 つ の 行

メインプログラムでは、7つの行を真剣に行なってまいります。

行を一つ終えるごとに、自らの中に静けさを感じ、境界線が溶けていくのを感じながら行なっていただきます。こうして自分と他者の境界が溶けた時、自分の神聖から見た他者の神聖が、自分の神聖を見ていることに気づきます。今から行なう行は、私たち一人一人がすべてと一つになっていくプロセスでもあります。

#### 【行①】 我即神也の宣言文奉唱と印

我即神也の宣言文を奉唱し、印を1回組みます。宣言文を声に出して唱えられない方は、心の中で唱えても結構です。

Point

表面上の姿、状況、そしてそこから生じる苦しみの中にいる自分ではなく、鎮まった心の奥に常に存在している神聖そのものの自分。そのような神聖なる自分と全く一つになった状態で、我即神也の宣言文を奉唱し、印を組みます。

## 我 即 神 也

わたくし  
私が語る言葉は、神そのものの言葉であり、私が発する想念は、神そのものの想念であり、私が表わす行為は、神そのものの行為である。

即ち、神の言葉、神の想念、神の行為とは、あふれ出る、無限なる愛、無限なる叡智、無限なる歓喜、無限なる幸せ、無限なる感謝、無限なる生命、無限なる健康、無限なる光、無限なるエネルギー、無限なるパワー、無限なる成功、無限なる供給……そのものである。それのみである。

故に、我即神也、私は神そのものを語り、念じ、行為するのである。

人が自分を見て、「吾は神を見たる」と、思わず思わせるだけの自分を磨き高め上げ、神そのものとなるのである。

私を見たものは、即ち神を見たのである。私は光り輝き、人類に、いと高き神の無限なる愛を放ちつづけるのである。

#### 【行②】 呼吸法による唱名

息をゆっくり吸いながら「我即神也」・息を止めて「成就」・息をゆっくり吐きながら「人類即神也」。この「呼吸法による唱名」を7回行ないます。

Point

呼吸に意識を戻していきます。呼吸によって私たちは生き、生かされているのです。一息吸って吐くごとに、自分は生かされている生命であり、与えられた肉体であることを深く感じていきます。個である自分と、そして大なるものが、この呼吸を通してつながり、交流しており、そして一つであることを感じながら、丁寧に「呼吸法による唱名」を行なってください。

### 【行③】 人類即神也の宣言文奉唱

人類即神也の宣言文を、自分自身そして人類に伝える意識で奉唱するか、または心の中で唱えてください。

Point

自分自身が、自分の奥深くに光と神聖を感じ、静寂を感じ、そこから大いなるものすべてと一つにつながっていたという事実を受け取ります。その心境で唱えるからこそ、自分の奥底の神聖が輝き、引き出されると同時に、すべての消えてゆく姿というものは、自分の奥にある本質の神聖が引き出される瞬間であることが分かるのです。根源へ潜っていくと、自分自身がより静かな、より純粋なる光で世界を照らす存在になっていきます。そのことを感じながら、人類即神也の宣言文を唱えてください。

#### 人 類 即 神 也

わたくし

私が語ること、想うこと、表わすことは、すべて人類のこののみ。人類の幸せのみ。人類の平和のみ。人類が真理に目覚めることのみ。

わたくし

故に、私個に関する一切の言葉、想念、行為に私心なし、自我なし、対立なし。すべては宇宙そのもの、光そのもの、真理そのもの、神の存在そのものなり。

地球上に生ずるいかなる天変地変、環境汚染、飢餓、病気……これらすべて「人類即神也」を顕すためのプロセスなり。

世界中で繰り広げられる戦争、民族紛争、宗教対立……これらも又すべて「人類即神也」を顕すためのプロセスなり。

故に、いかなる地球上の出来事、状況、ニュース、情報に対しても、又、人類の様々な生き方、想念、行為に対しても、且つ又、小智才覚により神域を汚してしまっている発明発見に対してさえも、これらすべて「人類即神也」を顕すためのプロセスとして、いかなる批判、非難、評価も下さず、それらに対して何ら一切関知せず。

私は只ひたすら人類に対して、神の無限なる愛と救しと慈しみを与えつづけ、人類すべてが真理に目覚めるその時に至るまで、人類一人一人に代わって「人類即神也」の印を組みつづけるのである。

### 【行④】 人類即神也の唱名（7回×3セット）

人類即神也を7回を1セットとして、3セット唱えます。声に出して唱えられない方は、心の中で唱えても結構です。

Point

今、目に見える世界に生じているさまざまな争いや分断は、過去の消えてゆく姿が現われている瞬間であり、その奥底には必ず神聖が、神の生命が、光が宿っているのです。今、ご自身は、その奥底の光とつながっているのです。現象や現状を包み込む大きな愛と光と真理が、ご自身の言葉から発せられている。そのように意識してください。

これは、人類一人一人が神聖なる存在であるという宣言であり、そうした自覚を人類に呼び起こさせる唱名であります。意識を込めて行なってください。

人類即神也 人類即神也 人類即神也 人類即神也  
人類即神也 人類即神也 人類即神也

× 3 セット

### 【行⑤】 人類即神也の音霊

おとだま

通常の「人類即神也」の印の音霊（ウー、ウー、ジーン、ルーイ……）を、声に出して空間に響かせていきます。ここでは手の動きは付けず、発声のみを行ないます。声に出せない方は、心の中で意識してみましょう。

発声は母音を意識して行ないます。

Point

この音霊のひびきを、人類に捧げます。「人類即神也」という真理を、言葉ではまだ理解しきれない人々に対しては、このひびきを発することがとても重要なのです。

すべての境界線を超えて一つになっていくという意識を持ちながら、一音一音大事に響きわたらせてください。想いをしずめ、ただただ音霊と一つになっていく感覚で、ゆっくりと一つ一つの音を発してください。

ウ[う]ー ウ[う]ー ジ[い]ー ンール[う]ー イ[い]ー ウ[う]ー  
ソ[お]ー ク[う]ー カ[あ]ー ミ[い]ー ナ[あ]ー リ[い]ー



## 【行⑥】 人類即神也の印（発声を伴った印）

人類即神也の印を1回組みます。

「人類即神也」と宣言してから、印を組んでください。宣言は小さな声でも結構です。（宣言文全文の奉唱は必要ありません）

Point

自らの神聖にまだ気づいていない人々の後方に私は立ち、この印の光によって人々を照らしていく。同じように、私が印を組んでいる時に、自分には見えない後方の場所から、私を光で照らしてくれている存在がある。照らすものが照らされていく。

「この印は天に通じ、神界に届き、そして地上世界に光となって働きつづけている」——この昌美先生のお言葉を、改めてしっかりと胸におさめてください。今から組む印は、この肉体の自分のみで組んでいるのではなく、天、神界ともつながって組んでいるのであります。天、神界と一つであるからこそ、光となって働く印なのであります。そのような自覚を持ち、今、私たちは互いに光で照らし合っていることを感じながら、音霊の発声を伴った人類即神也の印を1回組んでください。

## 【行⑦】 呼吸法による人類即神也の印

呼吸法による人類即神也の印を1回組みます。

まだこの印をお組みにならない方は、心の中で「人類即神也」と7回お唱えください。

Point

これまでの6つの行を通して感じたワンネス。循環する光の中、照らし合う私たちと人類が一つになっていくとともに、神々様のお力、お働き、お守りを頂きながら、自分も人類もすべてが照らされていることを、自らの呼吸の中に感じてください。そのひびきの中、7つの行の締めくくりとして、呼吸法による人類即神也の印を組んでください。

## 4 自分の神聖自覚の祈り

これまでの7つの行により、私たちはすべてと深くつながった境地に至っております。そしてそれは、自分を常に守ってくださっている守護の神霊、五井先生、大光明霊団、そして宇宙神とも一つであるという自覚につながっています。

神聖自覚を持った自分自身の「人類即神也」の境地が、人類を光で照らしていった。そのような今日のご自身の大きな働き、そしてそれをミッションとして選んで生まれてきた自分の天命を自覚し、感謝を捧げる時間を数分間、取ってください。

## 5 共に照らし合う祈り

すべての境界線が溶けてしまい、自分が光となっていく。すべてのすべてが神聖であるという確信を自らの中にしっかりと感じ取っていただきます。国境を超える世界は、私たち一人一人が、奥なる根源からの「人類即神也」の真理を自らの中に落とし込み、その境地で自分と他を見ていくことから始まるのかもしれない。

そして今日、私たちは確実にさまざまな境界線を超えて、人類と光で照らしあうことが出来ました。仲間がいるからこそ、自分もまた後方から照らされる。そしてその同志とともにあるからこそ、神々様と一体となってより大きな働きが出来る。ゆえに、今日の行はすべて消えることなく、永遠の光として照らされることをしっかりと受け取ってください。少しの間、そのことを味わってください。

## 6 神聖復活の印

これまでの行を経て、消えぬ永遠の光がまた地上に降ろされました。そして、その先の最終地点に、人類の神聖復活が待っているのです。人類の目覚めのため、その意識の導きのために、最後に神聖復活の印を1回組んでください。

以上をもちまして、七月大行事のプログラムは終了です。

皆様の尊い祈りと印を捧げてくださり、誠に有難うございました。

今年の七月大行事により、また人類に真理と、光と、そして一体感のワンネスが送られました。

すべての人々の中に輝く神聖が照らされ、また彼らの神聖によって私たちも照らされた……

そのような尊い時間を共に作り上げることが出来ました。

白光の真髓を、会員の皆様と感じ、深め、そして世界に届けることが出来ました。皆様お一人お一人のお働きのお蔭です。

おめでとうございます！